



No.47 2024年12月発行
編集・発行
石狩市環境市民部 広聴・市民生活課
〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30番地2
TEL: 0133(72)3191 FAX: 0133(72)3199

消費生活センター便り



消費生活相談現地研修会を 開催します！

消費生活サポーターと消費者被害防止ネットワークのメンバーが、北海道内の身近な消費生活相談事例について学ぶ現地研修会を、年明け2025年2月4日(火)に開催します。

どんな勉強をするの？

詐欺…投資詐欺やフィッシングなど、道内でも巨額の詐欺被害が後を絶たず、ニュースになっています。
一度お金を払ってしまうと、取り戻すことが難しい詐欺事例について学びます。



通信販売…スマホやパソコンで、テレビを見て電話で、誰でもいつでもどこでも簡単に、欲しいものが買える「通信販売」。でも便利だけでなく、トラブルも起きています。身近な事例について学びます。



定期購入…通信販売で多いトラブルが、初回は安く購入できるけれど、2回目以降は支払いが高額になる「定期購入」。一度限りのつもりで購入したのに、2回目の商品と請求書が届いた、解約ができない、などのトラブルが続出しています。



クーリング・オフ…訪問販売や電話勧誘販売などで、いったん契約の申し込みや契約の締結をした場合でも、一定の期間であれば無条件で契約の申し込みを撤回したり、契約を解除したりできる制度について学びます。



講師



北海道立消費生活センターで、全道から消費生活相談を受けている、経験豊富な相談員の先生が、道内の事例をわかりやすく解説します。



食品ロスをなくそう



年末年始はパーティーや宴会などでごちそうを食べる機会が多い時期です。そんなときこそ、食品ロスをなくすことを意識してみましょう。

●食品ロスとは？

・売れ残りや食べ残しなど、本来は食べられるのに捨てられてしまう食品を指します。

●食品ロスを削減すべき理由

・環境問題、地球温暖化…食料の生産・加工・流通過程、及び廃棄した食品を処理する過程においても、大量の化石燃料が使われ温室効果ガスが発生。食品ロスが出るということは、食べない食品をわざわざ生産しているということ。その分、温室効果ガスの排出を増やし温暖化を加速させている。



・食料問題…世界的にみると人口は増加傾向。しかし人口の増加スピードに食料増産スピードは追いついていない。このままの生活を続けていけば将来的に世界中で食料不足に。今から効率よく食品を消費してロスを出さないしくみを作っていかなければならない。

・倫理的な問題…食品は生き物の命を奪って生産している。むやみに食品を捨てることは、命をむやみに奪うことになる。食品を作ってくれた人、運んでくれた人にも失礼。

●食品ロスを生む消費者の行動

- ・食品調達…買い物リストを用意しない、買い物前に在庫の確認をしないなど、無計画な購買行動。衝動買いや店舗の販売促進の影響による計画外の購入。他人からの進物やお裾分けが使い切れない。
- ・食品保存…鮮度を損なうような方法や目に付きにくい場所で食品を保存。冷蔵庫の温度を適切に調節できていない。
- ・食品調理…下処理の際に可食部分まで除去してしまう、必要以上に作りすぎる。
- ・食品管理…調達した食品や保存している食品を積極的に使い切ろうとしていない、在庫の使用期限を把握していない、など。

●一人一人ができる食品ロス削減の取り組み

- ・食品の保存性について知識を習得、買い物の前に在庫を確認、冷凍保存を活用、残り物から料理を作る、食べ残しを次の食事食べる、野菜の皮や茎も使う、など。
- ・食品ロスを生んでいる自覚があまりない人は、「食品ロスダイアリー」をつけて、廃棄食品の種類や量などを記録。ダイアリーは自宅の食品ロスの実態や原因を可視化し、食品ロス削減を促す効果がある。

※参照・国民生活センターHP：https://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-202210_01.pdf



「こまったな…」と思ったら、相談してください！

石狩市消費生活センター ☎0133-75-2282

石狩市役所1階(平日 午前10時～午後4時)

※ 土日・祝日の電話相談は消費者ホットラインへ ⇒

消費者ホットライン 188

いやや
局番なし

日本全国のお近くの消費生活相談窓口をご案内します。